

知的資産経営報告書



2011年版

優しい環境実現に貢献する
有限会社 ヴァンテック

1. ご挨拶	1
2. 企業理念	2
3. 事業概要	3
(1) 金属触媒による水質浄化商品	3
(2) 竹炭触媒による水質浄化商品	4
(3) 触媒機能を持つコーティング剤	4
4. 市場環境	5
(1) 排水水質規制	5
(2) 業務用厨房からの排水に対する規制	5
(3) 油脂阻集器（グリストラップ）の市場規模	6
(4) 油脂阻集器（グリストラップ）に対するニーズ	6
5. これまでの事業展開	8
(1) 会社創立趣旨・会社沿革と ものづくり 高度化法認定まで	8
(2) ものづくり 高度化法で認定された 計画概要	9
(3) 価値創造のストーリー（過去～現在）	11
6. 自社の優位性（強み）	12
(1) 人的資産：企画力・開発力、排水処理ノウハウ	12
(2) 構造資産：企業理念、ものづくり高度化法認定	12
(3) 関係資産：経営基盤強固な親会社、 技術開発力に優れた提携会社	13
7. これからの事業展開	14
(1) これからの経営戦略目標	14
(2) 価値創造のストーリー（現在～将来）	15
(3) これからの事業計画	16
8. 会社概要	17
9. あとがき	18

1. ご挨拶

有限会社ヴァンテックは、平成9年に栗東総合産業株式会社グループの環境関連商品の企画・開発・販売を主体とした新規事業の担い手として設立されました。

親会社の栗東総合産業株式会社は、創業以来一貫して廃棄物処理・廃棄物処理施設管理・上下水道維持管理・浄化槽の設計施工から維持管理等の環境関連事業を営んでまいりました。

私たちの業務は地味ではありますが、それらの業務を着実に、一つ一つ積み重ねることにより、皆様の快適な生活環境を守ると共に、環境に関する多くのノウハウを蓄積してきました。

有限会社ヴァンテックは、それらのノウハウを活かし、さらに快適な生活環境を築くため、環境関連商品の企画・開発に邁進し、環境にやさしい商品をお届けします。

平成23年3月末日

有限会社 ヴァンテック
取締役社長
井之口 二三雄



<琵琶湖南岸より北を臨む>



2. 企業理念

ヴァンテック企業理念

環境関連商品の企画・開発・販売を通して、やさしい環境の実現に貢献する。

(有)ヴァンテックの企業理念は、栗東総合産業グループ理念及び(有)ヴァンテックの創立趣旨より導かれている。



栗東総合産業グループ理念

経済が活性化し暮らしが豊になればなるほど、増え続ける都市ゴミ。水まわりのインフラは、快適な生活を維持していくための重要な鍵です。

私たちは、創業以来一貫して環境関連事業を推進。

廃棄物処理と水まわりのメンテ管理を中心に、豊かな水に象徴される湖国の快適な生活環境を守ってきました。

そして、地球規模での環境保全が時代のテーマとなっている今、そんな私たちの役割がますます重要になってきていると言えますでしょう。

私たちは、一人ひとりの生活まわりの環境を美しくたもつことこそ、地球の緑を守り伝えていくことにつながる、と考えています。

人から街へそして地球へ、優しい眼差しを常に向けていきたい。

それが栗東総合産業グループの企業理念です。

人に地球にやさしい



3. 事業概要（環境関連事業）

環境関連商品企画・開発・販売

(1) 金属触媒による水質浄化商品

① 金属触媒素材

【機能】

- 排水処理設備の処理能力の向上
- 排水及び、湖沼水の浄化

【原理】

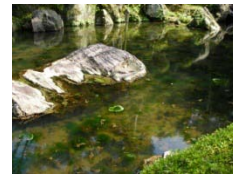
- 油脂に対し分解効果のあるアルミナ製（Al₂O₃）の素材に、分子間の結合エネルギーを弱める、SiO₂とPtを独自の技術により表面コーティングした触媒作用を持った素材。
素材と接触した汚水から水と不純物の分子間結合エネルギーを弱め、分離を促進させると共に有機物を分解する。

【特徴】

- 環境条件（光・温度等）に左右される事なく効果を発揮。
- 外部からのエネルギー供給が不要。
- 長期間効果を発揮。
- 生物に影響を与えない。（微生物処理方式と併用可能）
- 反応速度が速い。
- 既存の設備に組み込むだけで簡単に使える。



金属触媒素材



湖沼水の浄化



排水処理プラント



浄化槽



貯水槽

② グリーストラップ向け浄化システム

（ヴァンテックグリーストラップ浄化システム）

【機能】

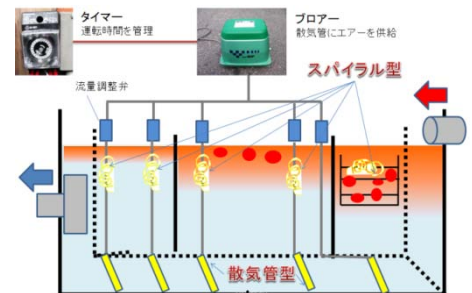
- グリーストラップ内の油水及び不純物分離促進、及び酸化防止

【原理】

○アルミナ触媒素材と散気装置を組み合わせた、グリーストラップ用排水処理システム。通常、飲食店のグリーストラップは許容量が非常に小さいため、貯留時間が非常に短い為既存の処理方式では対応が難しかった。本システムでは触媒の反応の早さを活かし、水と不純物を分離させ水質を安定させる。また、油脂と不純物の分離を促進させ、酸化を防ぎ汚泥の減量にも貢献する。

【特徴】

- 触媒反応により、短時間で効果を発揮。
- 機器等が必要ないため、省スペースで経済的。
- ランニングコストは、エアブローの電気代のみ。
- エアレーションの稼働時間は、流入がない時間帯のみ。



ヴァンテックグリーストラップ
浄化システム

3. 事業概要（環境関連事業）

（2）竹炭触媒による水質浄化商品

【機能】

- 各種水の水質改善

【原理】

○滋賀県産の竹炭に、分子間結合エネルギーを弱める触媒基材を独自技術により表面処理した触媒発生材。触媒によって、分解された汚れを竹炭が吸着し効果的に水を浄化する。飲料水をはじめ生活の身近な水から排水処理まで、幅広く利用が可能。

【特徴】

- 環境条件（光・温度等）に左右されることなく効果を発揮。
- 外部からのエネルギー供給が不要。
- 生物に影響を与えない。（微生物処理方式と併用可能）
- 反応速度が速い。
- 定期的に煮沸、乾燥させることで再利用が可能。

【主な用途】

- 飲料水の浄化
- お風呂の水の浄化
- 油の酸化防止
- 農業用水の改質（発育促進）
- 排水処理



竹炭触媒素材



（3）触媒機能を持つコーティング剤

（商品名：ヴァンテック×ウォーターシールド）

【機能】

- 金属面やガラス面の表面に触媒基材が入った皮膜を形成し、表面の光沢を維持し、酸化還元反応を利用し、汚れ防止・匂い防止の効果を発揮。お掃除の後にスプレーして塗り広げるだけで、ムラも出ず誰でも簡単に使うことができる。

【原理】

- 数十種類の触媒機能を持つ無機素材を蒸溜水、シリコン、天然樹脂とをかけた液体の中に入れ、皮膜を形成することにより、皮膜上に付着した汚れ、臭いを分解する触媒反応を發揮する。

また、食器にも使えるほど安全で、環境にもやさしい。

（JIS規格適合）

【特徴】

- 24時間、暗所でも触媒反応を促進させる
- 成分は、人間に無害な物質だけ使用しており食器に塗っても大丈夫
- スプレーして塗り広げるだけ、簡単にムラの発生もなし。
- 深い輝きと、最高のツルツル感を強固な皮膜で長期持続

【主な用途】

- 車のボディ、ガラス面の保護
- 家庭及び店舗のクリンネスに



ヴァンテック×ウォーターシールド



※現在、独自の触媒技術を利用して車両や、焼却炉、工場などの排気ガスの浄化装置の開発にも取り組んでいます。

4. 市場環境(水質関係)

(1) 排水水質規制

工場及び事業場からの公共用水域への排水の水質については、昭和45年制定の水質汚濁防止法で下表のように規制されている(主な項目を抜粋)。生活環境項目については、50m³/日以上排出する工場及び事業場が対象である。

健康項目 (人の健康に係る被害を生ずるおそれがある物質)		生活環境項目 (水の汚染状態を示す項目)	
物質名	許容限	物質名	許容限
カドミウム及びその化合物	0, 1mg/L	水素イオン濃度	海域以外5.8-8.6 海域 5.0-9.0
シアン化合物	1 mg/L	生物化学的酸素要求量(BOD)	160mg/L (日間平均120mg/L)
有機燐化合物	1 mg/L	浮遊物質(SS)	200mg/L (日間平均150mg/L)
鉛及びその化合物	0, 1 mg/L	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	5mg/L
六価クロム化合物	0, 5mg/L	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	30mg/L
砒素及びその化合物	0, 1mg/L	フェノール類含有量	5mg/L

この水質規制については、各都道府県で上乗せ規制が出来ることになっていて、全都道府県で上乗せ規制している。

滋賀県においても、

昭和47年：生活環境項目対象を、10m³/日排出する小規模事業場まで裾下げ。

昭和54年：窒素・リンの排水基準値を制定。

このように、排水規制は厳しくなる一方であり、今後も緩和されることは考えられない。従って、水質改善に資する環境対応製品に対するニーズはこれからも高いと思われる。

(2) 業務用厨房からの排水に対する規制

業務用厨房からの排水については、昭和50年建築基準法に基づく建設省告示1597号で、排水経路に阻集器を設置するように定めている。油脂阻集器の構造として次のように定めている。

四 阻集器

イ 汚水が油脂、ガソリン、土砂その他排水のための配管設備の機能を著しく妨げ、又は排水のための配管設備を損傷するおそれがある物を含む場合においては、有効な位置に阻集器を設けること。

ロ 汚水から油脂、ガソリン、土砂等を有効に分離することができる構造とすること。

ハ 容易に掃除ができる構造とすること。



4. 市場環境(水質関係)

(3) 油脂阻集器(グリーストラップ)の市場規模

前述のように、業務用厨房の排水経路には阻集器(グリーストラップ)の設置が義務づけられている。その業務用厨房の設置者としては、飲食店・レストラン、病院、スーパーマーケット、旅館やホテル、給食センター等多々ある。そのなかで飲食店(一般飲食店・遊興飲食店を含む)に限定しても、右表のように全国で70万店以上、滋賀県下だけでも約5,000店が対象となり、市場規模は非常に大きい。



飲食店・レストラン



スーパーマーケット

総務省統計局調査
平成18年事業所・企業統計調査結果
全国・近畿2府4県データ

飲食店件数	
全国	724,559
滋賀県	5,136
大阪府	60,191
京都府	16,875
奈良県	5,092
和歌山県	5,837
兵庫県	33,425

(4) 油脂阻集器(グリーストラップ)に対するニーズ

①グリーストラップの問題点

グリーストラップ構造は、3槽になっており、自然分離を活かして油分を水面に貯め、中間水を配管から下水道等に排水するようになっている。

この構造においては、油分や水より軽い異物等が上面に蓄積し、頻りに清掃しなければ、浮遊物が腐敗し悪臭や害虫の発生、ひいては配管の詰りなどを引き起こし、グリーストラップ周辺の環境の悪化や、油分や異物の混入した排水の流出等の環境汚染につながっている。

これらの問題を防ぐため、次ページに記載するような各種のグリーストラップ浄化システムが考案されて設置されているが、各方式とも課題が多く、十分機能しているとは言い難い。



油が溜まり閉塞したグリーストラップ

4. 市場環境(水質関係)

②グリーストラップ浄化システムの問題点

【各種グリーストラップ浄化システムの原理と課題】

方式	原理	課題
オゾン方式	オゾンの酸化作用により油脂を分解。下水処理場でも採用されている実績のある手段である。	○グリーストラップのような容量が小さい箇所では、少量のオゾンで油脂を分解させるには時間的に難しい。 ○オゾンを送る為、常時エアレーションを行わなくてはならない。 ○オゾン供給量が多いと配管の劣化やひいては人体にも影響を及ぼす
バイオ方式	微生物により油脂を分解させる。環境によい。	○グリーストラップは滞留時間が短い為、菌の繁殖が不可能である。○グリーストラップには厨房排水のみが入ってくるので、熱湯が流入するリスクがある。(菌の死滅原因) ○グリーストラップの汚水はBOD濃度が高い為バイオの活性化には不向き。
酵素方式	油脂の分解に有効であるとされる酵素を投入し油脂を分解する。	○滞留時間が短いため、効果を出すためには管理が困難。 ○効果に持続力がなく継続して投入が必要。 ○酵素の希釈機器など大型機器類が必要であり、ランニングコストもかかる。

上記各方式の浄化システムはコスト的にも次表のように高コストである。

【各種グリーストラップ浄化システムの概略コスト比較】

	オゾン方式 A社	バイオ方式 A社	バイオ方式 B社	酵素方式 A社	触媒方式 ヴァンテック
総額	450,000	321,200	306,500	700,000	約186,000

②グリーストラップに対する顧客ニーズ

今まで述べてきたように、現在使用されているグリーストラップは多くの課題を抱えている。その課題がすなわちニーズであり、要約すると次の3点にまとめられる。

- ・ **長期間の機能維持**
- ・ **メンテナンスの容易性**
- ・ **低コスト（初期コスト、メンテナンスコストとも）**

これらに対する顧客ニーズは非常に切実なものがある。
(ヴァンテックの触媒方式グリーストラップは、これらニーズをほぼ満足している。)

5. これまでの事業展開

(1) 会社創立趣旨・会社沿革とものづくり高度化法認定まで

①会社創立趣旨

「親会社である栗東総合産業の環境関連の新規事業を主体に、各種新規事業に進出するに当たり、それらの事業を推進する担当企業として設立した。」

②会社沿革とものづくり高度化法認定まで

平成 9年 6月 創業

平成12年 4月 ビルメンテナンス事業開始

平成15年 4月 人材派遣業務開始
(栗東総合産業のグループ内への人材派遣である。)

平成20年 7月 触媒を利用したコーティング剤の共同開発を開始
(この頃より環境関連の新規事業に本格的に取り組み始めた。)

平成20年 12月 橋梁用防錆剤の開発を開始

平成21年 6月 金属触媒による排水浄化素材の開発を開始

平成21年 7月 金属触媒による排水浄化素材の効果を現場実証を開始

平成21年 10月 液体触媒コーティング剤『VANTEC×WATER SHIELD』シリーズを発売

平成22年 6月 竹炭触媒を開発・テスト販売開始

平成22年 12月 『高効率油水分離触媒素材の開発及び、同素材を利用した汚水浄化システムの開発』で、ものづくり高度化法の認定を経済産業省より受ける。
(正式名称は「特定研究開発等計画」の認定で、上記の金属触媒による、グリストラップ浄化システムのことである。)



ビルメンテナンス事業



橋梁用防錆剤



排水浄化素材



液体触媒コーティング剤

VANTECH 触媒技術で、新しい未来へ

5. これまでの事業展開

(2) ものづくり高度化法で認定された計画の概要

①ものづくり高度化法とは？

- ・「ものづくり高度化法」に基づき、中小企業者が（他の事業者と協力して）、経済産業大臣の策定した特定ものづくり基盤技術高度化指針に基づいて研究開発を行う際、「特定研究開発等計画」を策定し認定を受けると、様々な支援を受けることができる制度である。
- ・特定基盤技術としては、下表の20の技術が指定されている。

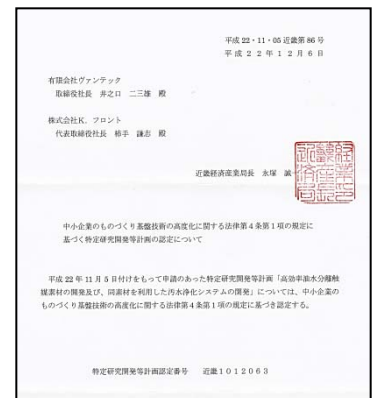
組み込みソフトウェア	金型	電子部品・デバイスの実装	プラスチックの成型加工	粉末冶金
溶射	鍛造	動力伝達	部材の結合	鑄造
金属プレス加工	位置決め	切削加工	織染加工	高機能化学合成
熱処理	溶射	めっき	発酵	真空の維持

今回、（有）ヴァンテックは「熱処理」技術分野の研究開発が、特定ものづくり基盤技術高度化指針に基づく研究開発であると認定された。

②特定研究開発等計画の概要

- ・有限会社ヴァンテックは、平成20年より株式会社K. フロント社と触媒を通して商品開発を行っており、今回認定をもらったのは活性アルミナ材を基材とした新しい触媒発生素材の開発及び、その素材の機能を十分に発揮するための汚水浄化システムの開発計画が認定を受けた。

<認定書>



- 認定日 : 平成22年12月6日
- 認定番号 : 近畿1012063号
- 申請者 : 有限会社ヴァンテック
- 共同申請者 : 株式会社K. フロント
- 基盤技術 : 熱処理に係る技術
- サポート機関 : 滋賀県中小企業団体中央会
- 計画の名称 : 「高効率油水分離触媒素材の開発及び、同素材を利用した汚水浄化システムの開発」

- ・同法で認定されたとは、具体的には、ものづくり高度化法に基づく「特定研究開発等計画」が、経産省より特定ものづくり基盤技術高度化指針に基づく研究開発であると認定されたということである。

5. これまでの事業展開

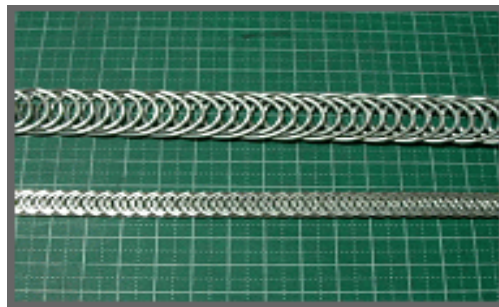
<高効率油水分離触媒素材（金属触媒素材）の開発>

- ・ 活性アルミナ素材の表面を多孔質に加工し、熱処理技術を応用してその表面にSiO₂（ケイ素）、Pt（プラチナ）などの触媒素材を担持（活性アルミナ素材に付着している状態）させることで、複数の素材による接触分解反応を起こし汚水浄化する素材を開発。

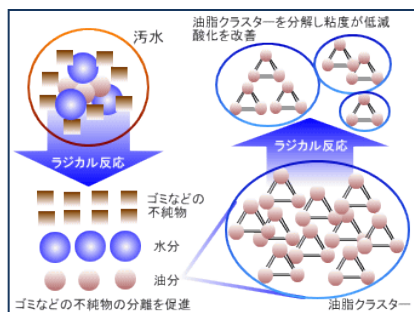
本触媒素材の特徴は、どのような条件下においても安定して反応を促進させる点にある。光触媒技術とは違い無光条件でも効果を発揮することができ、且つどのような温度下でも安定して反応を促進させる事が可能であるため応用性が広い。



←左) 散気管型触媒素材
エアブローからの空気を送り込む散気管として使用することで汚水との接触頻度を上げ効果を発揮。

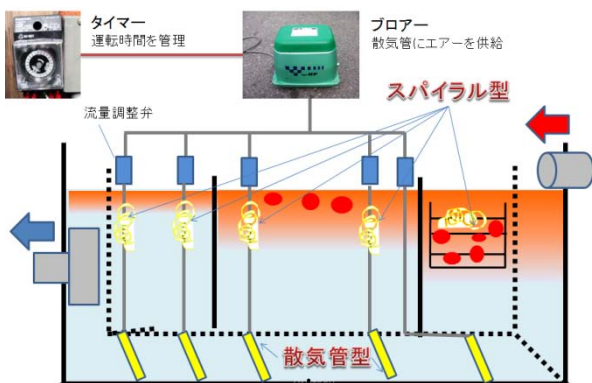


スパイラル型触媒素材（右→
特許商品である「スパイラルボン」の特徴である広い面積を利用し少量で効率よく汚水との接触面積をあげ、効率よく反応を促進させる。



グリーストラップ内の汚水は、水の分子のなかに油脂やゴミが入り混じった状態で存在している。触媒素材と汚水が接触すると、触媒反応により分子間の結合エネルギーを弱め分離を促進させる。水分子のクラスターが小さくなる過程で、連鎖的に水と不純物と油脂を分離していく。水だけでなく、油脂や不純物もクラスターを形成している。ラジカル反応がさらに促進されると油脂クラスターや不純物のクラスターも細分化していくことで酸化を防ぐ。（ラジカル連鎖反応）

<同素材を利用した浄化システム（ヴァンテックグリーストラップ浄化システム）の開発>



飲食店の排水は、下水道に入るまでの間に「油脂阻集器」（グリーストラップ）を經由して流れていく構造になっている。

このグリーストラップの設置の目的は油脂や残渣をここで留めて、放流水の水質を安定させることである。

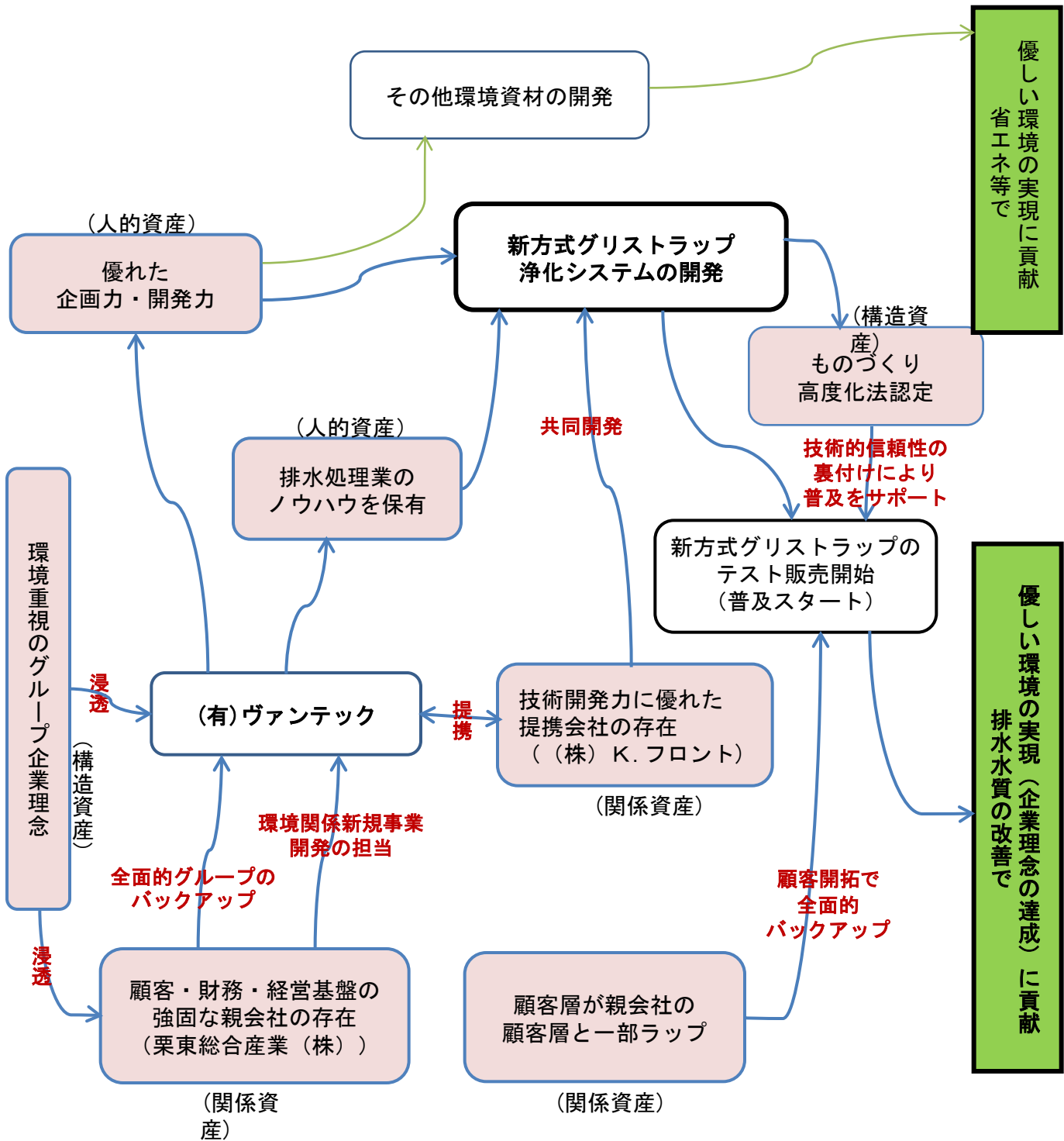
油脂の使用量の多い店舗などでは分離した油脂と残渣などが空気に触れることで酸化してしまい、「悪臭」「害虫」の発生の原因となり、また配管の閉塞などを起こす原因となっている。

従来から、これらの問題を解決すべく様々な製品が開発されてきた。許容量が小さい為に反応時間する時間がなく十分に効果を発揮できる商品は存在しなかった。

触媒方式は、反応速度がマイクロ秒オーダーと呼ばれることがあるほどに早いのが特徴であり、迅速に油脂分離阻集が可能である。当社の浄化システムは、その触媒機能を最大限に活かした設計になっている。

5. これまでの事業展開

(3) 価値創造のストーリー（過去～現在）



は現在保有する知的資産を示す。

6. 自社の優位性（強み）

（1）人的資産（従業員が退職時に一緒に持ち出す資産）

①優れた企画力・開発力

平成20年半ばより、環境対応製品の企画・開発に取り組み（K、フロントと共同）、主に以下の新製品を次々と生み出してきた。このように企画力・開発力に優れている。

平成20年12月：橋梁用防錆コーティング剤の開発

平成21年 7月：高効率油水分離触媒の開発及び同触媒を使用したグリストラップシステムを開発し、同月より実証試験を開始

平成22年 6月：竹炭触媒を開発し、同月よりテスト販売開始

平成22年10月：高効率油水分離触媒を応用した親水性コーティング剤を開発し、同月よりテスト販売開始

②排水処理のノウハウを保有

親会社が長年浄化槽の施工・管理、下水道維持管理・補修等に携わっており、排水処理関連のノウハウを保有した従業員が多数存在している。



（2）構造資産（従業員の退職時に企業内に残留する資産）

①環境重視の企業理念の存在

栗東総合産業(株)には、長年環境関連事業を推進してきた経緯から環境重視の企業理念が存在している。(有)ヴァンテックは、環境商品の開発という創立趣旨からも企業理念の浸透度合いが高い。

右→は栗東総合産業が3年単位で設定している企業目標である。企業目標の中に企業発展のキーワードとして「環境負荷低減」あげられており、(有)ヴァンテックでは「触媒」という技術を用いて環境負荷低減できる商品を開発している。

②ものづくり高度化法認定

平成22年12月「高効率油水分離触媒の開発及び同触媒を使用した汚水浄化システムの開発」で、ものづくり高度化法の認定を受けた。国として基盤技術強化の対象技術であると認定されたことであり、技術の高さ・確かさの証となる。つまり、高度な技術と認められたことを意味する。

三年間の企業目標『企業体質の強化』

今年も近年で国内外が飛躍すると言われているが、これはあくまで期待であり現実を考えれば飛躍する材が見当たらない。雇用は落ち込んだままであり、経済は相変わらず外需依存で、海外需要が落ち込んだら日本も落ち込むと言う過去の図式は何ら変わっていない。バブル以降失った20年と言われたが、今も引きずっているのが現実である。

経済政策の失敗は歴然としており、結果国民は自民党から民主党へ期待を込め政権を委託した。しかし、民主党として自民党同様何ら経済政策を打ち出せず更には、鳩山氏による無責任発言と行動で大混乱を招き、挙げ句の果てには今現在でも国民を置き去りにして党内紛争に明け暮れている。我々が求めていた期待は大きく裏切られ失望感で満ちている。国債による借金のみ増大していくこの国のあり様を誰が責任をとるのか？韓国のある経営者がとても意味深い言葉を発した。それは、過去の韓国企業は決して日本製品より優れた物はなかなか作り出せなかった。従って、日本をお手本にした。しかし今は、日本に学ぶことはなにも無いと言いつつ、過去失われた20年の間に韓国は国の基盤整備を官民一体となって努力した結果である。如実に表れている出来事がアラブ首長国連邦に乗り原産入札において、日本が韓国に敗れた事である。韓国は李明博大統領自ら相手国に乗り込み営業活動を行った結果である。

中国、韓国に遅れをとり続けていたならば自ずと結果が見える。年頭の挨拶でも言ったが、国民個人資産が1400兆円あるからまだまだ余力があると言う人もいるが予断を許す範囲は既に超えている。このままでは、そう遠くない時期に財政破綻を起こし債権国から債務国になってしまう。

本年は、国が経済と財政の建て直しに真剣に取り組んで欲しいと強く思う。その為にも雇用増加とデフレからの脱却を第一に願って欲しいものである。しかし、私たちに現実としてこの不安定要素を含んだ社会状況の中で、生き残らねばならない。

本年も昨年に引き続きキーワードは、環境負荷低減、代行業の二点を中心になる。環境負荷低減については、CO2の低減は言うに及ばず、三R（減量、再使用、資源化）の徹底。そして、代行業については、日本人の高齢化に伴い他人への依存が高まる。一つの例として、農業問題である元来日本人は農耕民族で土地への執着心はかなり強いものであった。しかし、後継者が居ない場合や、後継者が農業に魅力を感じず離農する場面が多あり現在、国が農業法人化を推進している。又、TPP加盟問題も今年の政治課題でもある。この他にも色々な代行業務は存在する。これらを核に事業展開を推し進める。その為にも、社会（企業・地域住民）の要求を的確に読み（顧客要求に誠実に応える）、自らの確りを固め（組織改革と教育訓練の充実）、脆弱な体質からの脱却（営業基盤の強化）、社員全員が丸（社員の意識改革）となり、企業体質の強化（ISOを道具として最大限の活用と、各々他力本願からの脱却）を各々自らが計る事を求める。尚、企業体質強化施策（経営方針・四つの柱）の最終年として本年も昨年に引き続き全員一丸となって取り組む事。

6. 自社の優位性（強み）

（3）関係資産（企業の対外的関係に付随したすべての資産）

①顧客・財務・経営基盤の盤石な親会社の存在（栗東総合産業株式会社）

親会社は、廃物処理、浄化槽や貯水槽及び下水処理システムの設計・施工・管理、運輸等の事業を行っている。直近3期の業績を見ると、売上は漸増で10億前後、経常利益率はコンスタントに売上高比で4～5%、最直近期の自己資本比率は40%強と優良会社である。

このように環境関連部門が主力であるため、（有）ヴァンテックと顧客基盤はかなりラップしている。



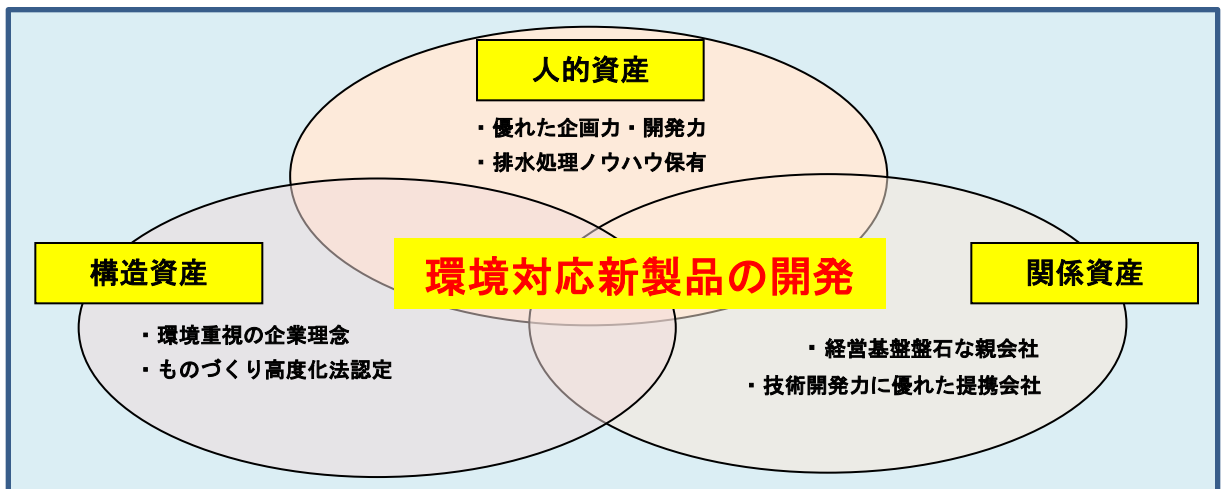
②技術開発力に優れた提携会社の存在（株式会社K. フロント）

同社は立命館大学発のベンチャー企業であり、同大学をはじめ大阪大学・静岡大学などの触媒のスペシャリストの協力も得ながら技術開発に取り組んでいる企業である。

その技術成果は、日経産業新聞・日刊工業新聞等でも紹介されている技術開発力に優れた企業である。



右は日刊工業新聞社の企画にて座談会に柿手社長が参加した時の記事。京都工芸繊維大学大学院教授（当時）森氏とエレガフィ社長飛永氏とK. フロント柿手社長。□が柿手社長



7. これからの事業展開

(1) これからの経営戦略目標

① 企業理念を達成するための重要成功要因・・・クロスSWOT分析より

【(有)ヴァンテック クロスSWOT分析】・・・主力製品であるグリス・トラップ対象

クロスSWOT		内部環境	
		《強み》	《弱み》
		<ul style="list-style-type: none"> ・環境重視の企業理念が存在し、かつ浸透している。 ・油水分離触媒及び同触媒を使用したグリストラップの開発がものづくり高度化法の認定を受けている。 ・現地設置テストの結果、当グリストラップは高性能・低コストである。 ・企画力・開発力がある。 ・排水処理ノウハウを保有している。 ・顧客・財務・経営基盤の強固な親会社がある。 ・開発力に優れた提携開発会社がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業力が弱い。親会社の営業網も滋賀県主体である。 ・取り付け工事体制・メンテナンス体制が不十分 ・現地設置テスト結果は良好であったが、実証データが少ない。(8件)
外部環境	<p>《機会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水水質規制の強化 ・社会的な環境意識の高まり及び自治体による法規制遵守の監視強化 ・現在高性能・低ランニングコストのグリストラップ浄化システムが市場に存在しない。 ・グリストラップ設置を義務付けられている業務用厨房設置者が多い。(滋賀県の飲食店だけで約5,000店) 	<p>【企業理念を達成するための重要成功要因】</p> <p>「顧客満足を与える製品・サービスを提供し、同装置の普及を図り、優しい環境を実現する。」</p> <p>顧客満足</p> <p>(イ) 製品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト (イニシャル・ランニングコスト) ・高機能維持 ・メンテナンスが容易 <p>(ロ) サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き合いに対し、地域を問わず迅速に対応できる営業体制 ・問い合わせ・相談に対する迅速な対応 (主にメンテナンス関係) 	
	<p>《脅威》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高性能・低ランニングコストのグリストラップが市場に存在しない。という風評 ・既存グリストラップが、大きさ・構造等バラバラである。 		

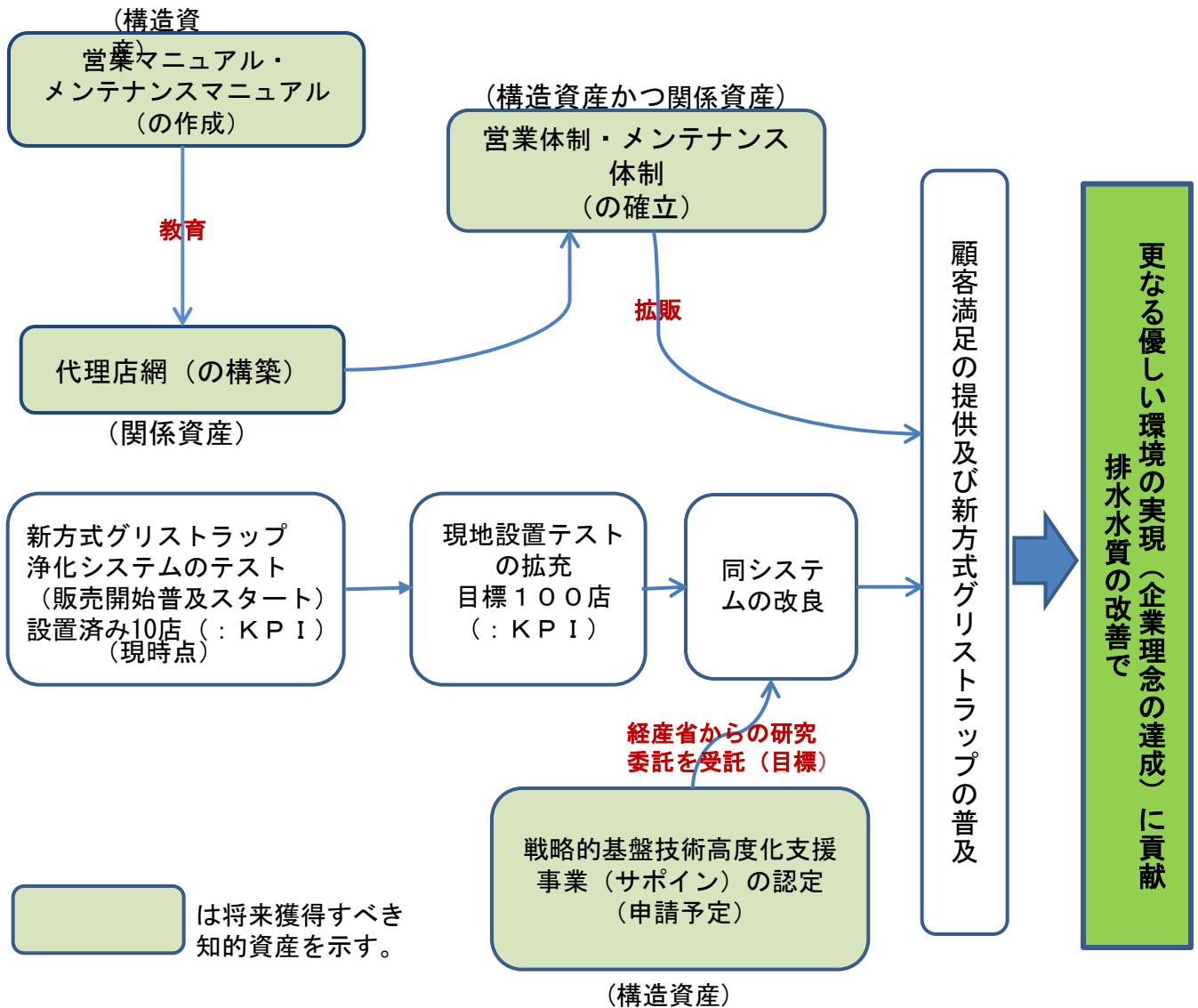
② 重要成功要因よりのこれからの経営戦略目標

顧客満足を与えるため、開発中のグリス・トラップの完成度をさらに高め、営業サービス体制を整えて同装置の普及を図ることが必要である。従って経営戦略目標としては、

- ・グリス・トラップの改良を重ね、さらに完成度の高い装置とする。
- ・同装置普及のための、営業体制・メンテナンス体制を確立する。

7. これからの事業展開

(2) 価値創造ストーリー（現在～将来）：主力製品であるグリストラップ対象



【営業体制・メンテナンス体制の強化】

- ・当面（2年以内：KPI）近畿各府県ごとに1店代理店契約を締結し、その代理店が営業活動及び施工・メンテナンスが実施できる体制整備を計画
- ・将来（5年以内）は、全国各都道府県ごとに1店代理店契約締結を計画

【戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）】とは

- ・ものづくり高度化法の認定を受けたもので（「特定研究開発等計画」の認定を受けたものという意味）、ものづくり基盤技術の高度化に向けた研究開発に取り組みを行う中小企業者が、提案書を提出し認定されると、国からその研究に対して委託金の支給を受けられるという制度。つまり、国から研究を委託されるということである。
- ・ヴァンテックは「特定研究開発等計画」の認定を受けており、同研究開発計画でサポイン申請は可能である。

7. これからの事業展開

(3) これからの事業計画・・・高効率油水分離触媒関連事業

①事業計画の実施スケジュール

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
グリストラップ関連	代理店網の強化 近畿 本州・四国 北海道・九州 販売・施工					
	直販 代理店通し			(直販も一部継続)		
その他	新規用途の開発 下水処理・浄化 槽・工場水・ 湖沼浄化等					

右の写真は、高効率油水分離触媒を使用した湖沼での水質浄化テストの状況
(左側が原水、右側は浄化されて透明度が上がっている)



②KPI (重要業績評価指標)

K P I	現 状	将 来
グリストラップ現地設置テスト及び使用データの収集数	10セット	1年目末までに合計100セット
代理店網の強化	ゼロ	5年目末までに全国各都道府県に1店以上
グリストラップ設置セット数	10セット (テスト用)	1年目： 100セット、 2年目： 200セット、 3年目： 500セット、 4年目： 1000セット 5年目： 1500セット
グリストラップ販売金額 (単位：百万円)	ゼロ	1年目： 20、2年目： 40 3年目： 100、4年目： 200 5年目： 300

8. 会社概要

会社名	有限会社 ヴァンテック
創立	平成 6年 2月
会社所在地	〒520-3036 滋賀県栗東市十里244番地 TEL: 077-553-1712 FAX: 077-553-4710 メールアドレス: vantech@ritto.co.jp
代表取締役	井之口 二三雄
資本金	4百万円(平成21年10月現在)
従業員	30名(パート含む)
事業内容	環境関連商品の企画・開発・販売 ビルメンテナンス
ホームページ	http://www.ritto.co.jp

【栗東総合産業(株)グループ概要】

栗東総合産業(株)

(関連企業)

- (有) ヴァンテック
- (有) 栗東ホース倶楽部
- (有) 淡海トランスポート
- (有) アジア交易



＜(有)ヴァンテック本社＞
(栗東総合産業(株)本社建屋内)

9. あとがき

(1) 知的資産経営とは

知的資産経営とは、従来バランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。よって、「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、即ち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠しています。

(2) 注意事項

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。そのため、将来にわたり当社の取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことを、十分にご了承願います。

(3) 作成支援

当報告書は次の団体・個人により作成支援されています。

- ・滋賀県中小企業応援センター
- ・滋賀県中小企業団体中央会
- ・中小企業診断士：菊田 俱光

(4) お問い合わせ先

- ・有限会社 ヴァンテック
担当者：井之口 哲也
(電話番号等は前ページに記載)



(5) 発行

2011年3月